令和７年度　環境保全報告書

１．地球温暖化対策に係る報告
２．地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

令和８年６月

株式会社神戸製鋼所

神戸本社地区

1．地球温暖化対策に係る報告

＜概　要＞

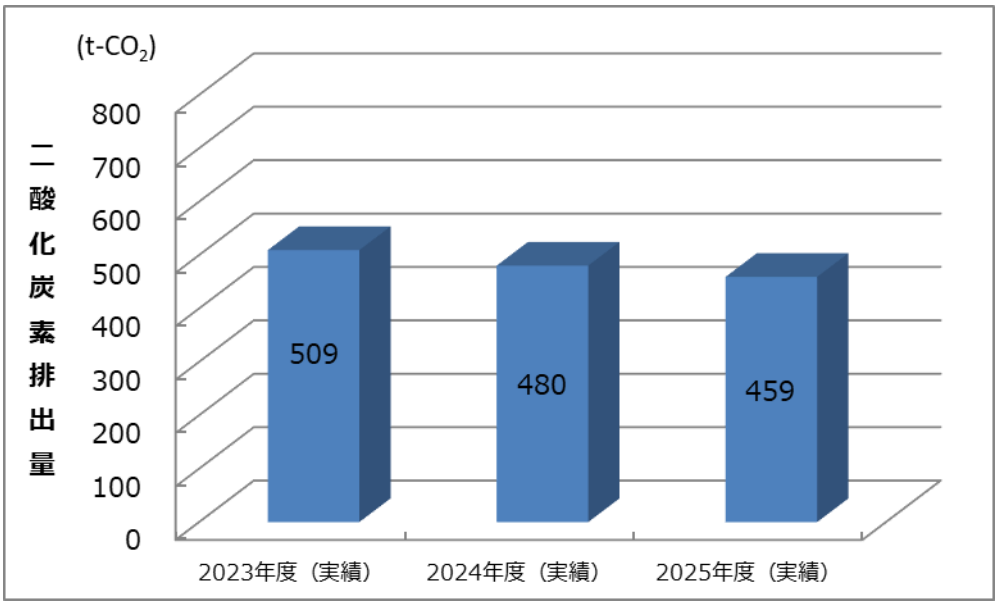
神戸製鋼所・神戸本社における 2025 年度温室効果ガス排出量は、**459**(ton-CO_2)でした。

神戸本社ビルは、省エネルギーを追求した設計であり、傾斜窓、建物のキュービック（立方体）化による熱負荷の抑制、全熱交換器（換気時の流出入空気間の熱交換）やオフィススペース全照明器具への LED 採用、太陽光発電パネルの設置などによりエネルギー消費量を低減しています。

熱使用量については、2022 年度より、実質再生可能エネルギー100%の熱エネルギー（冷温水）の供給を受けており、CO_2 排出量は 0kg-CO_2 になっています。

ア）2025 年度における電気・熱・燃料の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料等の種類	使用量等	単位	排出係数	単位	排出量 (kg-CO_2)
地域熱供給業者からの供給熱量	冷熱/温熱	1,558,665	MJ	0.000	kg-CO_2/MJ	0
電気事業者から供給された電気使用量	電気	1,078,225	kWh	0.415	kg-CO_2/kWh	447,463
自社所有車で消費した燃料使用量	ガソリン	4,440	L	2.29	kg-CO_2/L	10,168
	軽油	574	L	2.62	kg-CO_2/L	1,504
合　計						459,135



※燃料の CO_2 排出係数：環境省温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度のものを使用

※2023 年度（実績）は 2023 年度実績の排出係数、2024 年度（実績）、2025 年度（実績）は 2024 年度実績の排出係数を使用して計算

イ）2025 年度の CO_2 排出量計画と CO_2 排出量実績

温室効果ガス	排出量（kg-CO_2）	
	2025 年度 計画	2025 年度 実績
二酸化炭素 （CO_2）	482,226	459,135
メタン （CH_4）	–	–
一酸化二窒素 （N_2O）	–	–
ハイドロフルオロカーボン類（HFC）	–	–
パーフルオロカーボン類 （PFC）	–	–
六フッ化硫黄 （SF_6）	–	–
三フッ化窒素 （NF_3）	–	–
合　計	482,226	459,135

ウ）目標達成のために講じた措置・対策の実施状況

措置の区分	具体的対策	実施状況
エネルギーの使用の合理化その他	(a) 脱炭素化した冷暖房用熱エネルギーの利用	実施
	(b)執務室の室温を、冷房時：28 ℃ 暖房時：20 ℃を目安として管理の徹底を図る。 (夜間の外気導入システム（エコヴォイド）による省エネ実施)（図 1 ご参照）	実施
	(c)エコオフィス活動を推進する。全社会報による周知徹底を図る。 夏季：ノーネクタイ、上着なし等 冬季：1 枚重ね着、足元を温かくする工夫	実施
	(d)不要照明の消灯の徹底を継続する。（昼休みの消灯） ※照明は LED 照明を使用 ※トイレ、階段等は人検知センサーによる自動点灯	実施
	(e)パソコンの節電を徹底する。	パソコンの自動省電力機能の活用を概ね実施
	(f)省エネ型の自動販売機を設置する。	24 h 消灯型や LED 搭載型の自動販売機を継続利用
	(g)コピー機等オフィス機器への省エネ機器の採用を推進する。	低消費電力コピー機を継続利用
	(h)再生可能エネルギーの利用 ビル屋上に設置の太陽光発電設備(20 kW)による発電	2025 年度発電実績 18,210 kWh
	(i)テレワークによる環境負荷の低減 通勤に係る CO_2 削減を図る。	実施



■神戸本社に採用した「エコ」
・エコヴォイド
・自然換気システム
・全熱交換器の採用
・執務室の取入れ外気制御
・Low-E ペアガラスによる開口部の熱負荷抑制
・LED 照明器具の採用
・省エネルギーシステム天井
・明るさセンサー制御
・人感センサーによる照明制御
・節水型便器の採用
・太陽光発電システム
・屋根断熱性能の向上
・BEMS（省エネルギー管理・運用システムの採用）
・エネルギーの見える化
・CASBEE 神戸　S ランク取得

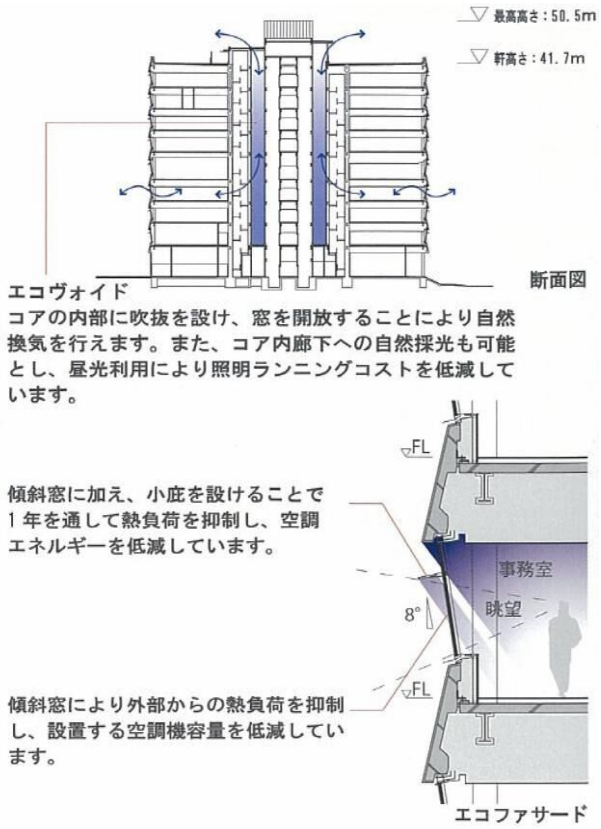


図 1．神戸本社ビルに採用したエコ技術

２．地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

目標達成のために講じた措置・対策の実施状況

	措置の区分	項　目	実施状況
1	事務所での一般廃棄物の適正処理・減量・再資源化	(a)紙類のリサイクルに努める。	紙類のリサイクル率 2025 年度計画：99.4% 2025 年度実績：99.0%
		(b)下記取り組みを実施する。 ・コピー方法の改善、ペーパーレス FAX、ペーパーレス会議等により、コピー用紙使用量を極力削減するよう努める。 ・事務所廃棄物の分別回収を促進する。 等	実施
2	事務所での再生製品の使用	(a)下記取り組みを実施する。 ・コピー用紙、トイレットペーパー、名刺などへのグリーン購入対象紙の利用を図る。 ・ファイル等の事務用品を再利用する。 ・社内レイアウト変更により不要となった事務消耗品を他事業所、近隣の学校へ譲渡　等	実施
3	プラスチックに係る資源循環等に関する取り組み	対象廃棄物を可能な限りリサイクルするよう努める （努力目標：リサイクル率 8 割）	リサイクル率 77.3% （2024 年度　全社実績）
4	自動車対策	(a)自動車への依存の少ない企業活動を推進する。 ・通勤は公共交通機関を利用する。 ・出張や市内移動時には、公共交通機関の活用に努める。	実施
		(b)より低公害・省エネルギーな自動車を導入する。 ・エコカーに関する各種情報を収集し、将来の導入に向けた検討を行う。	実施
5	従業員教育・啓発 公害防止、省エネルギー・省資源等に関する意識向上	(a)環境法令遵守徹底のためのコンプライアンス教育等を実施する。 ※e-ラーニング：イントラネットを利用した学習システム。ＰＣ端末使用社員のほぼ全てが受講する。	e-ラーニング※を 1 回/2 年実施する
		(b)社内報での啓発	1 回/年　実施
		(c)神鋼とグループ会社の全従業員を対象に「エコライフノート（環境家計簿）」を実施することで環境意識啓発の一助になるよう、継続して取り組む。	実施

6	地域社会への参画	(a) 小学生、中学生、高校生を対象とした、森をテーマにした創作童話のコンテストとして、「森の童話大賞」を実施する。2025 年度は第 13 回目となる。（【参考 1】ご参照）	「第 13 回 KOBELCO 森の童話大賞」を実施
		(b) 森林保全活動に地域社会の一員として参画し、地球温暖化防止や生物多様性の向上などの環境保全に貢献する。（【参考 2】ご参照）	4 回/年 実施
		(c) 地域への貢献活動として、「神戸こどもエコチャレンジ 21 倶楽部」に参画し、環境教育（児童館出前エコ教育）を市内の児童を対象に実施する。（【参考 3 】ご参照）	児童館出前エコ教室 3 回/年
		(d) CO_2 削減活動および地域社会貢献活動として、フードドライブを実施する。（【参考 4】ご参照）	2 事業所
		(e) 神戸市が推進する「神戸登山プロジェクト」に参画し、六甲山系の 70 を超える登山道において、老朽化した施設の安全対策や案内板整備、登山道の整備・メンテナンスなど登山環境の向上にかかる費用の支援を行う。	実施
		(f) 神戸市が推進する「こうべ木陰プロジェクト」に参画し、超高温常態化対策として、街の歩道や公園に、木陰を創ることで、都市空間に癒しと快適さをもたらす取組みに支援を行う。	実施

【参考 1】

第 13 回 KOBELCO 森の童話大賞

次世代を担う子どもたちに、さまざまな自然の恵みをもたらす森を大切にする気持ちを育んでもらうことを目的とし、全国の小学校、中高校生から「森」をテーマにしたおはなしを毎年、募集しています。金賞作品はプロの絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の小学校・中学校・高校・特別支援学校・公立図書館等に、約 2,000 セット寄贈しました。



第 13 回金賞作品絵本

【参考 2】

森林整備活動への参画について

KOBELCO グループは、2011 年秋から、従業員のボランティアによる「森林整備活動」を実施しています。兵庫県内では、KOBELCO の森（三木市：4.7 ha）、ECOWAY の森（神戸市灘区：約 0.9 ha）の 2 ヶ所で活動を行っています。

これまで森林エリアの除間伐、下草刈り等の作業を続けてきた結果、太陽光が森の中に差し込み始め、元気な森を取り戻しつつあります。



森林整備活動中の様子



森林整備活動後の集合写真

【参考３】

児童館出前エコ教室

神戸製鋼は、神戸市が主催する「神戸こどもエコチャレンジ 21 倶楽部」の会員になっています。この倶楽部は、児童が環境に対する興味を持ち、環境に配慮した活動を継続して実践していけるように、「児童館出前エコ教室」を展開しています。

神戸製鋼は、鉄と電気をテーマにし、サイエンスショーやクイズ大会などを通じて、環境や電気の大切さ、鉄の便利さを学ぶプログラムを提供しています。



出前エコ教室の様子

【参考 4】

フードドライブ

KOBELCO グループではマテリアリティ(重要課題)の１つとして「グリーン社会への貢献」を掲げており、社員一人ひとりが“日々の生活の中で”意識を向けて参加する CO_2 削減に向けた活動として「フードドライブ」を実施しました。また、地域社会の一員として、様々な状況に置かれている子どもたちが活力を持ち豊かな成長ができるように、後押しすることを目的としています。

フードドライブとは・・・ご家庭で余っている・使う予定のない食品を集めて、支援を必要としている地域の子育て世帯や子ども食堂などに寄付する活動のこと。



回収した食品

【2025 年度 神戸本社の回収実績】
累計：187 品
重量：27kg